

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いて、マスクなしの方針も出てきているため、今後景気回復は見込める。
	◎	コンビニ（代表者）	・県内の人流はほぼ新型コロナウイルス感染症発生前に戻り、活発になっている。また観光の好調は今後も続き、県内景気は更に改善していくと判断する。
	○	百貨店（店舗企画）	・物価高の懸念材料はあるが、アフターコロナ、インバウンドの回復等、期待が大きい。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたので、観光客数増加により客単価が伸びるため景気は良くなるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・今月は前月に続き、季節もののセールを中心に展開しているが、まだ客の購買意欲は感じられない。しかし、観光などが再開することで金の回りが良くなると考えており、これから少し期待する。
	○	家電量販店（営業担当）	・県内客の購買意欲は大きく変わらないとみられるが、3月からはクルーズ船の入港が開始するため、外国人の来客数増加が見込まれる。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・全国旅行支援が終わっても、新型コロナウイルス感染症に対する反応も落ち着き観光客数が増えていくのではないかと期待している。しかし、陶器自体は材料代や光熱費の高騰により価格が上がっていくとみており、需要が減らないか懸念している。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客数はかなり増えそうな雰囲気であるが、食材の値上がりや、急激な求人数の増加で従業員が全く採用できず、仕方なしに店休日を入れ、バンクしそうになると入店規制でしのいでいる。大変な機会損失が生じている。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は2019年を上回っており好調に推移している。特にインバウンドは顕著に増加しており、円安傾向も追い風になっている。
	□	スーパー（企画担当）	・コロナ禍での生活が落ち着き来客数が戻りつつあるなか、4月以降、電気料金的大幅値上げがあることで節約志向が高まり、客の購入する点数が伸び悩むことが予想される。
	□	コンビニ（副店長）	・訪日外国人の利用は今後も回復し、ある程度売上の見込みはあるものの、水道代、電気代、人件費といった諸経費の高騰は、引き続き縮めるが厳しい状況である。1度上げると引下げは考えられず、出費の多くなる季節は、やはり財布のひもも固くなるとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・4月から電気料金が大幅に値上げされるため地元の客は財布のひもが固くなるとみている。
	□	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症や半導体不足関連で、例年より春先需要が前倒しとなって車を買いに来ている雰囲気がある。
	□	一般レストラン（代表者）	・来客数がまだ読めない。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊の予約が伸び悩んでいる。全国旅行支援の今後の未定で動かない。飲食は懇親会の予約が動き始めてきている。
	□	通信会社（営業担当）	・来客数は伸びているが、販売に結び付いていない。日用品の値上げや携帯端末自体が高価格、高スペックになっていることから取替え Spann が延びてしまっている。
	□	住宅販売会社（役員）	・建築費及び地価の高止まりに加え、住宅ローンの金利の先高感が気になる。不動産価格に対して、客がどこまで許容するか気になる。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が僅かに良くなっているが、その分インフルエンザ感染者数が増加しているため、そのような点も微妙に営業に支障が出ているように見受けられる。	
▲	乗用車販売店（経理担当）	・商品供給量が絞られる。	
▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの2月の販売室数が前年比764%増加なのに対し、2月末時点での5月の予約室数は前年比60%増加とプラス幅が小さくなっている。	
▲	旅行代理店（マネージャー）	・物価上昇に合わせて旅行素材も高騰している。個人旅行は伸び悩むとみられる。	

	▲	住宅販売会社（代表取締役）	・建築相談の新規情報が減少しており、今後の受注契約件数が少なくなることが予想される。
	×	—	—
	◎	—	—
企業 動向 関連 (沖縄)	○	食料品製造業（役員）	・円安の状況を考えると引き続き沖縄県への観光客数は国内、国外とも増加が見込める。
	○	建設業（経営者）	・市内のあちこちで、解体工事の現場が増えている。解体があるということは、建て替えにつながる。
	□	窯業土石業（取締役）	・見積依頼は若干増加傾向であるが、原材料価格は高止まりしており電気料金の値上げも予定され、生産コストの上昇による利益率の低下が懸念される。
	□	輸送業（代表者）	・先島地区の建設関連は、公共工事においては石垣島の陸上自衛隊工事が順調だが、宮古島は端境期で少ない。与那国島は先に発注された大型の自衛隊関連工事が始まり、今後が期待される。民需においては宮古島、石垣島を中心に、大型ホテル工事が進んでいる。
	□	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促予算は確実に増額傾向にあるとみているものの、エネルギーや食材などの価格高騰の影響で、予算執行の先行きが不透明である。
	□	会計事務所（所長）	・恒常的なコスト高に対する不安感から、消費増加には結び付かない。
		▲	—
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	人材派遣会社（総務担当）	・5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変わるなど、新型コロナウイルス感染症対策等の変化に伴い、沖縄に観光客が戻り、経済はやや良くなるとみられる。
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数が毎月増加している。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の終息に向けて、観光や物流を始め、経済活動の活発化を見据えて、採用活動も活発化が予想される。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・観光関連やサービス関連求人数は夏シーズンに向けて増えるとみているが、年度初めを越えた5月の時期になるため、他業種では求人数が減っていくとみている。現在と比較し、全体的な求人数は横ばい又は減少と予測している。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・早期に求人を頂いていることで、徐々に求人数は落ち着いてくるとみられる。ただし、慢性的な人手不足であることから、求人数としては例年を上回る数値になるものと期待している。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・物価上昇、電気代、燃料費の高騰などの状況は好転する兆しがみられない。
		▲	—
	×	—	—